

2015年2月9日

第4回仙台空港600万人・5万トン  
実現サポーター会議配付資料



資料2

# 東北再興への挑戦

～ 空港民営化を通じた創造的復興 ～



宮城県知事 村井嘉浩



# 東北の将来を見据えて



# 東北地方の定住人口将来予測

▽ 平成52年(25年後)の東北の定住人口は  
**現在の4分の3まで減少(減少率は全国最大)**  
**「交流人口拡大」が東北発展の鍵になる**

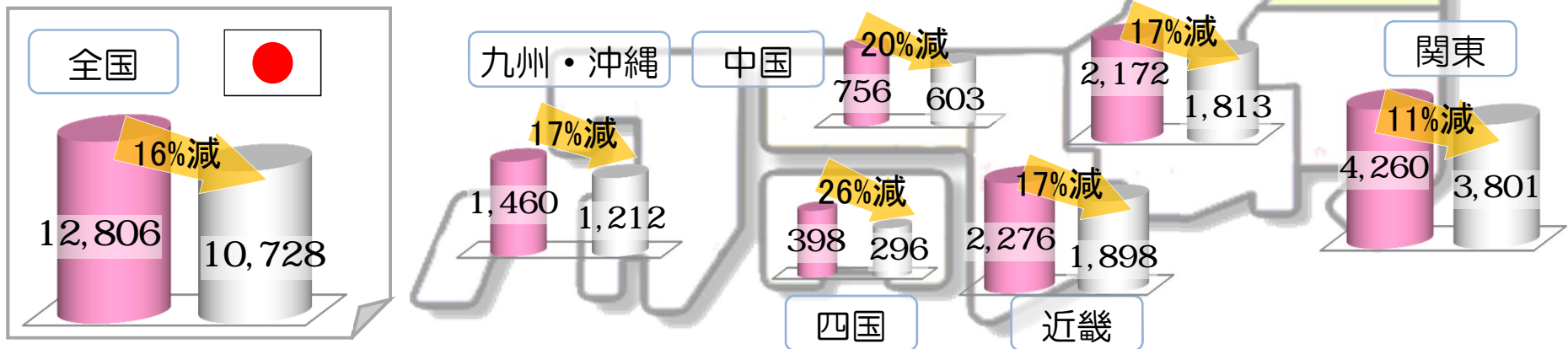
【東北の将来人口推計】

年	H22	H32	H42	H52
人口	934万人	861万人	776万人	<b>686万人</b>
H22比	—	▲8%	▲17%	<b>▲27%</b>

地域別将来人口推計(万人)



出典: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」



# 誘客の現状と今後の課題（観光分野からの分析）

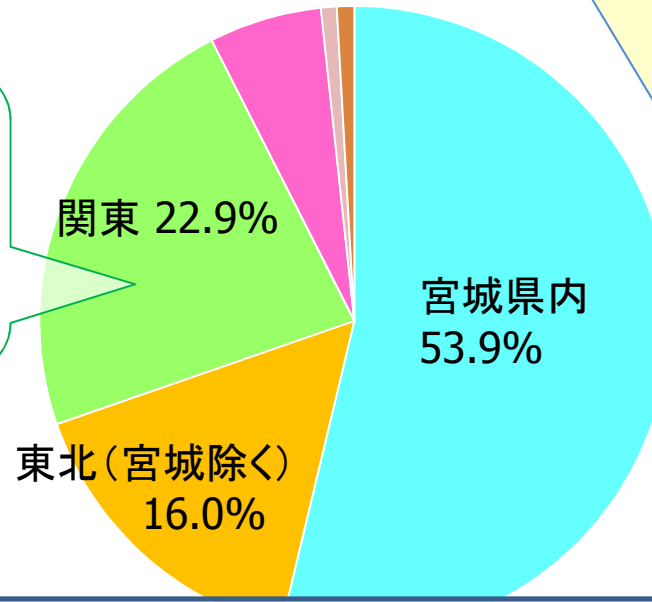
▽ 宮城県に訪れる観光客の約7割が東北地域内居住者  
→ 今後は1割未満である中部以西・海外からの誘客強化が不可欠

宮城県の誘客範囲（H24観光動態調査）

中部以西5.8% 外国等0.9%

これまでの重点誘客地域  
（鉄道利用中心）

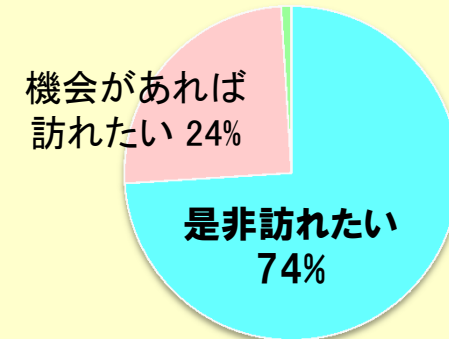
JR等との連携を通じて  
一定以上の成果を創出



近い将来、「東北域内流動」の  
急速な市場縮小が予見

今後の重点誘客地域  
（航空機利用者中心）

航空旅行者の  
東北への再訪意向



リピーター化も十分期待できる

※ 仙台空港旅客アンケート調査より



# “東北再興”の絶対条件・交流人口の拡大

交流人口  
拡大の鍵

中部以西や海外からの誘客強化（航空旅客増加）

そのためには

航空路線の大幅な拡充（既存路線増便＋新規就航）

どうやって

空港民営化

- ① 空港・関連施設の一体的経営，効率的設備投資で収益を改善
- ② 運営権者の判断に基づく柔軟な着陸料設定
- ③ 民間の知恵を活かした地域住民・関係事業者との連携

効果発揮

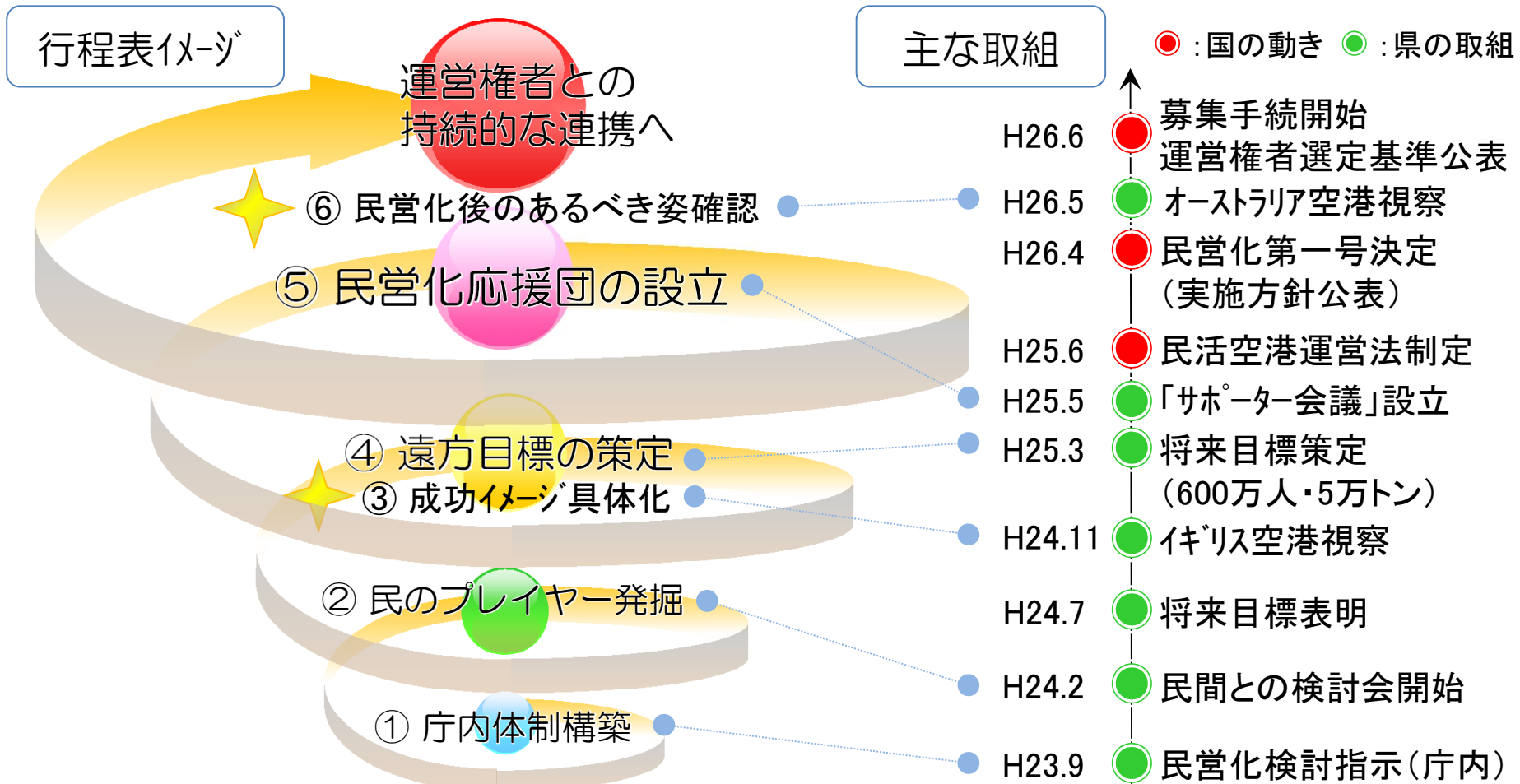
東北再興の  
拠点化

観光・ビジネス・物流等の空港機能を更に充実させ、  
東北全体の活性化を牽引する拠点空港へ



# 空港民営化実現に向けた行程表

▽ 従来の発想にとらわれない純粋な民間による空港運営の実現には、  
官民一体となった“巨大なムーブメント”の創出が必要と判断  
→ 以下の行程表のもと、**早期から国・民間・地域を巻き込み**民営化を推進



# 地元からのメッセージ

## ～運営権者・サポーターの皆様へ～



# 【地元からのメッセージ1】 運営権者の皆様へ

▽ 以下の経営理念を持った事業主体に空港運営を担っていただきたい

- ① 「ヒト・モノの交流拡大」を最優先に考えること
- ② 多様な主体との“連携の輪（和）”を拡げていくこと

## 民営化後の成長イメージと取組例

- 空港立地自治体
  - 関連民間企業
  - 東北各県
- との  
緊密な連携

## 多様な主体との 連携の輪(和)拡大

東北再興の  
拠点空港へ  
(600万人・5万トン)

## 「ヒト・モノ交流」の 拡大最優先化

- 旅客数・貨物量に応じた着陸料等設定
- 安く・気軽に利用できる航空路線誘致
- 他空港とのネットワーク強化
- 新規輸送ルート構築
- 従来手法・固定観念に囚われない改革  
(規制緩和による利便性と収益性の両立)
- 航空会社等の要望に沿った施設整備
- 全ての空港利用者※の利便性向上

## 仙台空港 民営化

※ ここでの「空港利用者」とは、航空旅客のみならず、一般客(送迎客等)、航空会社、その他広く空港を利用する者を指す。





## 【地元からのメッセージ2】 地域としての姿勢

▽ 空港民営化の効果最大化には、**地域も課題克服に取り組む必要あり**  
(地域の努力・サポートなくして、民営化の成功なし)

**地域住民**

空港利用促進に向けた協力（運用時間の延長等）

**観光**

東北一体となった観光プロモーション・広域観光連携

**接続交通**

交通ネットワーク網（バス等）の整備

**物販・飲食**

「東北らしさ」を感じる品揃えの強化

**物流**

東北貨物の集荷体制構築

**行政**

規制緩和・特区創設（空港等発展の下支え）

**課題解決に向けた地域の取組が民営化効果を何倍にも増大させる**

# まとめ（地元が考える空港民営化）

▽「全国共通（＝似たり寄ったり）の民営空港」をつくるのではなく、  
**東北の特性を踏まえ、地域に“好循環”をもたらす民営化を強く望む**

仙台空港民営化で期待される“好循環”



**“600万人・5万トン”は必達目標**  
(仙台空港民営化が成功したか否かはこの数値で判断)